

市立加西病院だより



あびき湿原

「新病院の骨格を考え、意見をのべていこう」

目次

- ・ 事業管理者兼病院長挨拶 P.2
- ・ 新任医師及び研修医の紹介 P.3
- ・ 市立加西病院内科の医療レベルについて P.4
- ・ 耳鼻咽喉科の最近のトピックス P.5
- ・ 市立加西病院に赴任して P.6
- ・ 職場紹介 (5 病棟) P.7
- ・ 情報トピックス P.8
- ・ 皆様からのご厚意 P.8
- ・ 加西病院サポーターの会だより P.9
- ・ 感染症病棟 P.10
- ・ 地域医療室からのご案内 P.11
- ・ 外来診察担当表 P.12

『新病院の骨格について考えてみた ~病床運用、市との連携部分について~』

病院事業管理者 兼 院長 生田 肇

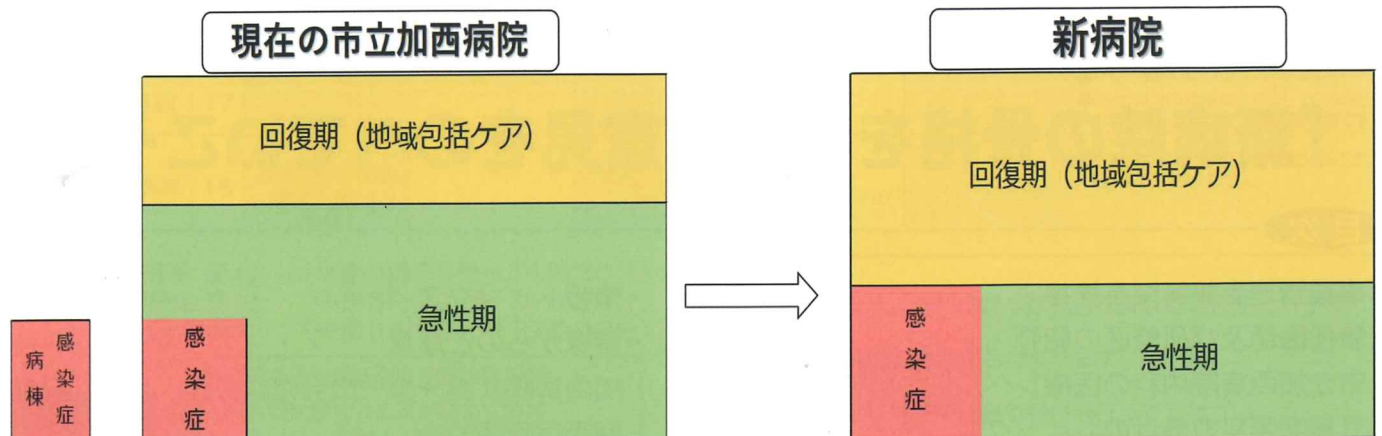


昨年度は一年を通じて病院の老朽化に伴う新病院建て替えの議論が行われ、最終的には 2025 年度開設をめざした建て替えの方向となり、本年度は将来を見据えた加西病院の役割、骨格について考えていく必要があります。よって、本年度の病院目標を『新病院の骨格を考え、意見をのべていこう』としました。市が病院の建て替えを行うのですが、病院職員として、将来を見据えた新病院の在り方について考え、若手の職員にも意見を言っていただきたいし、意見を言える場をつくっていききたいと思います。

加西市の人口減少、近隣の病院の再編成により、加西病院としてはサイズを小さくして、基幹病院とは患者さんだけでなく、医療者も含めて連携していくことが基本となります。そして、現在と同じように3つの役割を担っていくことになると思います。一つ目は開設以来の加西市唯一の急性期病院としての役割、その医療圏域として加西市とその周辺地域です。二つ目は北播磨医療圏域とその周辺を想定した回復期をみる病院としての役割、いわゆる地域包括ケア病床を2015年から運用しています。急性期治療を終えた患者さんが自宅退院に向けて利用できる病床で、当院の急性期病床からの転入、他の急性期病院からの転院を

受け入れています。三つ目は感染症病床です。当院は1999年から第二種感染症指定医療機関として登録され、現在に至っています。これは新型コロナウイルス感染症を想定した病床ではありませんでしたが、以前より別棟に病床をもっていました。そのこともあり、当院では最初から新型コロナウイルス感染症の中等症、軽症患者さんを受け入れており、感染の拡大に伴い、また、県からの要請もあり、現在では別棟だけでなく本館にも隔離した形で病床を増やしています。新病院では別棟を廃止し、本館の中に感染症病床を確保する予定にしており、その病床は感染症患者さんの診療に適した隔離できる配置にしなければなりません(図)。

病院の骨格に関する二つ目は、現在の加西病院のなかの医療・介護に関する部署、具体的には医療介護総合支援センターと訪問看護ステーションですが、市の保健・医療・福祉などを担う部署との連携は極めて重要です。医療・介護、予防医学を含めて、しっかり連携できれば、市民サービスが一層向上できると思います。



病床運用のイメージ図

新任医師・研修医の紹介

医師

外科
部長

田中 正樹



- ① 一般外科
- ② 特になし
- ③ 特になし
- ④ 自分なりに精一杯がんばらせて頂きます。

医師

外科
医員

吉田 道彦



- ① 消化器外科
- ② テニス、ドライブ
- ③ わかりやすく丁寧な説明を心がけています
- ④ 半年間という短い期間ではありますが精一杯頑張ります。

医師

整形外科
医員

飯盛 信哉



- ① 外傷全般
- ② スポーツ観戦、音楽フェス
- ③ 昨日の自分に負けない
- ④ 加西市の皆様の良い医療を提供できるよう頑張ります。

医師

整形外科
医員

宮島 明博



- ① 整形外科
- ② 旅行、テニス
- ③ 患者さんに優しい、親身な医療を提供していくこと
- ④ 1年間ですが、加西市民の役に立てるように頑張っています。よろしくお願ひします。

医師

精神科
医員

武内 孝太郎



- ① 傾聴
- ② 硬式テニス(全国 32 位)
- ③ 健康第一
- ④ 精神科専攻医として、患者さんから信頼と安心を持っていただける様に日々精進します。

医師

内科
専攻医

竹鼻 良樹



- ①
- ② 映画鑑賞
- ③ 習慣は第二の天性なり
- ④ まだまだ力不足ですが、市立加西病院の一員として頑張りますのでよろしくお願ひします。

医師

内科
専攻医

戸田 憲作



- ①
- ② プログラミング、ジョギング
- ③ 特になし
- ④ 皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

医師

内科
専攻医

荒瀬 優希



- ① 消化器内科一般
- ② 旅行
- ③ 一石二鳥
- ④ 加西市の地域医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願ひします。

医師

内科
専攻医

平位 一廣



- ① 呼吸器内科
- ② 野球観戦
- ③ 住めば都
- ④ 精一杯努めてまいります。

医師

内科
専攻医

松本 夏鈴



- ① 内科
- ② YouTube 鑑賞
- ③ 人間万事塞翁が馬
- ④ 半年間、懸命に働かせて頂きますので、よろしくお願ひいたします。

臨床研修医

荒木 祐二郎



- ② 映画鑑賞
- ③ 光陰矢の如し
- ④ 精一杯頑張ります。

臨床研修医

新宮 晃太郎



- ② スポーツ鑑賞
- ③ 日々精進
- ④ 精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

臨床研修医

住谷 茉帆



- ② 料理、旅行
- ③ 初心を忘れない
- ④ 積極的に行動し、多くのことを吸収したいと思ひます。

臨床研修医

西林 亨



- ② ゲーム
- ③ 人事を尽くして天命を待つ
- ④ まだ勉強不足な点が多く、皆様に支えられながら研修させていただいております。精一杯頑張ります。

①得意とする分野

②趣味・特技

③座右の銘・信念・
モットー

④抱負・自己PR

市立加西病院内科の医療レベルについて

副院長 兼 循環器非侵襲検査部長 河合 恵介

2013年に小野市に大きな病院ができ、加西市内からもそちらを希望される患者さんが増えていると思います。今回果たして市立加西病院、特に私の担当である内科の医療レベルが大病院に劣るのかどうかについて、私の考えを述べさせていただきます。

まず自己紹介ですが、私は小野市粟生町生まれで小野市の中でかなり加西寄りです。また父方の祖母が加西出身です。河合小学校、河合中学校、白陵高校、神戸大学医学部と進み、卒業後、循環器内科学講座に入局し、神戸大学および関連病院で研修および研究を行いました。心臓病、特に心不全、心筋症（拡張型心筋症、肥大型心筋症）と心エコー図検査が専門です。

研究を終えた時点での進路アンケートで「三木小野加西方面の病院」を希望しました。すると「神崎総合病院に2年間行ってほしい。」と言われ、神崎総合病院に赴任しましたが、勤務1年後にアメリカ留学の話を受け渡米しました。留学2年目の終わりに教授から「加西病院に行ってほしい。」というファックスが届き、2002年6月から市立加西病院に勤務することになりました。

当院に赴任した時の印象は「市立加西病院は田舎にあるが、やっている医療は都会的である」ということです。その印象は今も変わっていません。その証拠として2003年以後に当院は内科学のトップジャーナルであるLancet誌を含む10本の英語論文（臨床研究5本、症例報告5本）をPublish（掲載）し、「加西から世界へ」情報発信し医学の進歩に貢献しています。

これは大病院でもなかなかできない事であり、当院が科学的根拠（エビデンス）に基づいた標準的な医療、全うな医療を行っていることの証拠だと自負しています。

次に何でもそろっている大病院であれば、高度で最善の医療が受けられるかどうかについてです。百貨店であれば、何でもそろっていて自分の好みの物が手に

入るのがいいと思いますが、医療は異なります。

現在は高齢化が進み、Multimorbidity（同時多病）の時代と言われています。つまり一人の患者さんが同時にたくさんの病気を抱えておられます。その場合、内科のいろんな科を回り、薬を積み上げていくと、ポリファーマシーといって、多剤処方による様々な副作用を誘発し、転倒のリスクを上げると言われています。むしろやるべきことは、減薬、減量であるとも言われています。

当院内科では循環器、消化器、糖尿病、脳梗塞の分野で常勤の専門医や指導医がおり、それぞれが領域毎の専門性の高い診療を行いながら、同時に内科として一つにまとまって全領域をカバーする医療を行っています。病院の本務である入院医療において内科が細分化されておらず、Multimorbidity（同時多病）の時代の診療に適しています。実際開業医の先生からは「加西病院はどんな患者さんでもすぐに受けてくれるが、大病院では循環器内科や消化器内科等の科のはっきりしない患者さんをすぐには受けてもらえない。」という声を聴きます。当院では毎週1回内科医師、研修医全員が集まり、持ち回りで講義をしていますので、総合内科的な資質が身につけやすいと思います。

結局、入院患者さんの主治医は一人ですので、その主治医の力量を上げる、つまり高い専門性を持ちつつ、患者さんを総合的に診る力をつけることが患者さんへの最善の医療につながると思います。

なお、当院に常勤の専門医のいない呼吸器内科、脳神経内科につきましては神戸大学から週3回医師派遣を受けておりアドバイスをもらっています。血液内科、腎臓内科も週1回非常勤医師が来ています。また近隣の大病院、中規模病院との関係は極めて良好ですので、当院よりも他院の方が適切な医療が受けられると思われる場合は躊躇なく紹介しています。

ということで、市立加西病院内科の医療レベルは決して低くありませんので、安心して受診いただければ幸いです。



耳鼻咽喉科の最近のトピックス

耳鼻咽喉科部長 堅田 敬太

《耳鼻咽喉科と新型コロナウイルスについて》

新型コロナウイルスは、肺炎というイメージがあるかもしれませんが。しかし、肺など下気道での炎症だけでなく、鼻や喉などの上気道でも増殖すると言われていています。上気道の炎症だけを起こすこともあり、軽い咽頭痛、微熱、倦怠感という軽いかぜ症状で、実は新型コロナウイルス感染という方もあります。

普通の風邪と新型コロナウイルス感染は見分けが付きにくいです。新型コロナウイルス感染では、高い確率で嗅覚味覚障害を合併します。軽い倦怠感、微熱という軽い風邪症状であっても、嗅覚味覚障害を合併している場合は、新型コロナウイルス感染症の可能性があります。こういう症状の方には、積極的に新型コロナウイルスの抗原検査を行っています。

新型コロナウイルスの抗原、PCR 検査は、鼻の穴から綿棒を入れて粘液を採取します。発熱がある場合は、診察前に抗原検査が必要になります。ご協力よろしくお願ひします。

《鼻の手術について》

当院耳鼻科の特色として、鼻の手術を専門的に行っております。慢性副鼻腔炎、いわゆる蓄膿症に対して、内視鏡下、鼻副鼻腔手術を行っています。内視鏡を鼻の穴から入れて、病変部をテレビモニターに映して、鼻と副鼻腔のポリープ除去、清掃、副鼻腔の入り口の拡大を行います。長年、鼻閉や鼻漏に困っている人が、手術により症状が大きく改善して、早く手術しておけばよかったと言われることもあります。

手術ナビゲーションシステムの導入を予定しています。導入すると、内視鏡の先が鼻の中のどこにいたかがわかり、安全に手術ができるようになります。副鼻腔炎を指摘された、鼻の手術が必要と言われた方は、一度、当院耳鼻咽喉科を受診してください。

《嚥下、誤嚥、嚥下評価について》

嚥下とは、食べ物を飲み込むことを言います。嚥下は、若い時は無意識にできますが、比較的複雑、高度な喉の機能になります。高齢者で筋力が低下して、喉の動きが悪くなりタイミングがずれると、食べ物の一部が気管に入りむせるようになります。食べ物が気管に入ることを、誤嚥と言います。誤嚥して、食べ物が気管から肺まで入り込むと、誤嚥性肺炎となります。

高齢化社会になり、嚥下障害とそれに伴う誤嚥性肺炎の患者さんが全国的に増えてきています。

当院耳鼻咽喉科では、以前から当院入院中の患者さんには嚥下評価を行ってききましたが、当院入院中でない方にも、嚥下評価の検査を行うこととなりました。外来での嚥下評価（予約制）及び、4 日間の入院をして、精査する方法を用意しています。言語聴覚士、管理栄養士、歯科衛生士、看護師、放射線技師など多業種で、嚥下評価・指導治療を行っています。

嚥下評価の検査には、嚥下内視鏡検査と嚥下造影検査があります。嚥下内視鏡検査は、鼻からファイバーを入れて、喉の奥を覗きながら、水やゼリーを嚥下してもらい、うまく呑み込んでいるか、気管に入らないか観察します。嚥下造影検査は、レントゲン透視下で造影剤を混ぜた食事を飲み込んでもらい、うまく食道に入っていくかどうかを観察します。

外来での嚥下評価では、嚥下内視鏡検査と嚥下指導を行います。入院での嚥下評価では、嚥下内視鏡検査や嚥下造影検査、嚥下リハビリと指導、栄養指導や口腔ケア、嚥下指導報告書の作成を行います。

適切な食事形態及び体位、嚥下指導をすれば、肺炎の予防になり、体力がつくことで生活の質が高まります。嚥下評価が必要な方や希望される方は、かかりつけ医に相談もしくは当院地域医療室に電話相談をしてください。施設に入所されている方は、施設の方と一度相談してください。

《当院の耳鼻咽喉科と新病院について》

当院耳鼻咽喉科は、常勤医一人で診療を行っています。通常の外来は午前のみで、一診で月から金曜で行っております。木曜は、大学からの応援医師の外来です。手術は、一人でできる範囲については積極的に行っています。二人以上の手術の場合でも、緊急手術でなければ、神戸大学に応援医師の派遣をお願いして、可能な範囲で行っています。悪性腫瘍については、当院での治療はできませんが、病気に合わせて紹介先を選定しています。

新病院の建設が予定されています。新病院においても、耳鼻咽喉科は存続の予定です。全国、どこの公立病院でも経営が厳しい状況です。加西市民におきましては、引き続き当院耳鼻咽喉科を受診をよろしくお願ひします。

市立加西病院に赴任して

外科部長 田中 正樹

4月から市立加西病院に赴任させていただいております外科の田中です。平成16年に和歌山県立医大を卒業し、神戸大学外科学講座の仲間に加えさせていただいております。加西に来るのははじめてですが、僕の生まれた但馬地方より都会です。市立加西病院に来る前は、姫路市にある製鉄記念広畑病院（来年には姫路循環器病センターと統合して県立はりま総合医療センターとなります）に勤務していました。所属は外科ですが、救命救急センターでも勉強させていただきました。広畑病院は救急疾患が多い病院で、外傷、腹部救急、緊急手術など、多くを経験させていただきました。その前は、神戸大学病院肝胆膵外科で高度専門医療を経験させていただきました。大学病院の前は、公立宍粟総合病院で地域医療を学びました。これまでに学んだことを市立加西病院で少しでも発揮し、お役に立てればと考えています。広畑病院では、全国的に問題となっている救急患者のいわゆる“たらいまわし”、受け入れ先病院の決定困難という現状を目の当たりにしました。姫路市の患者さんのみならず、赤穂市、宍粟市、たつの市、神崎町、福崎町、加古川市などから多くの患者さんが広畑病院救命救急センターに搬送されてきました。加西市からも数件受け入れたと記憶しています。広畑病院は姫路近辺で救急患者の「最後の砦」と位置づけられていると考えていましたので、できるだけ救急患者は断らず受け入れてきたつもりです。しかしながら遠方からわざわざ広畑病院まで来ないといけないことは、患者さんやその家族にとって大きな負担だろうと感じておりました（ある程度はどうしても仕方ないのですが）。救急患者の受け入れには、他科の医師やコメディカルの協力が欠かせません。近隣病院と役割分担をするところは分担をしますが、はじめから“できない”とか“診れない”ではなく、自分の能力の限り患者さんを診させていただこうと考えておりますので、よろしくお願いいたします。できる

限り、加西市の患者さんが加西市以外の病院に行かなくて済むような病院にできればと思います（限界があるのは承知です）。

さて、話は変わりますが、昨今の外科医の減少については大変懸念しております。外科はつらくてしんどいし、習得するまで時間がかかります。ですが何よりやりがいがあります。赴任してまだ数か月しかたっておりませんが、市立加西病院は外科医にとって、比較的仕事のやり易い病院ではないかと考えています（理解のある先生ばかりです）。

当院の外科疾患は、胆石性胆のう炎や鼠経ヘルニア（いわゆる脱腸）、虫垂炎が多い疾患だと認識しています。また、内視鏡手術の設備がすばらしく『4K3D鏡視下手術装置』という設備が備えられており、大変感銘を受けております。知識や技術をしっかり身につけ、学んだことを後進に伝えていければと考えております。最後になりましたが、外科精鋭チームの一員として、加西市民の皆さんに安心・安全な医療を提供してまいりたいと思っています。

どうぞ宜しくお願いいたします。



職場紹介（5 病棟）

病棟副課長 立間 恵美子

■ 病棟紹介

5 病棟は病床数 50 床の地域包括ケア病棟です。当病棟は急性期治療を終えすぐに在宅等に退院するには、不安がある方や退院後の療養環境が整うまでに準備期間が必要な方、リハビリテーションを希望して他院から転院してこられる方などを受け入れています。

自宅や施設にできるだけ安心して退院していただけるように、多職種と連携して、生活リハビリテーションや集団リハビリテーション、合同のカンファレンスを行い、患者さんや家族の思いに添えるように生活支援や退院調整を行っています。

■ 生活リハビリテーション

筋力アップや柔軟性のアップを目指した機能訓練を行うのではなく、着替えや入浴、トイレ、食事などの日常生活の動作をリハビリテーションととらえ支援することで、日常生活動作の維持や向上を目指しています。患者さんや家族の方が、どのような生活を望まれているのかを聴きながら生活リハビリテーションを行っています。ベッドから離れることができず食事の介助が必要だった方が、車いすに座り、一人で食事を食べることができるようになったり、ポータブルトイレを使用されていた方が歩行器や杖を使ってトイレまで歩けるなどの改善がみられることがあります。

■ 集団リハビリテーション

複数の患者さんに集団リハビリテーションを行うことです。集団リハビリテーションは単調になりがちな入院生活に変化を与えるだけでなく、社会交流の場となり、体・脳・こころの健康に良い影響を与えるとされています。現在はコロナ禍のため、マスクの着用やソーシャルディスタンスを保つなど感染防止に留意して、大きな声を出す歌はひかえ、ラジオ体操、ビデオや音楽鑑賞、手遊びゲームなどを行っています。昔のことを思い出して話をされたり、ゲームに参加して笑顔が見られたりします。

■ 多職種とのカンファレンス

自宅や施設にできるだけ安心して退院して頂けるように、看護師と介護福祉士でカンファレンスを行い、着替えや入浴、トイレ、食事などできるだけ患者さん自身でできる方法や在宅療養に向け介護される家族の方の負担が軽減できる方法について検討しています。

また、退院に向けて、患者さんや家族の方、医師、病棟看護師、医療相談員、リハビリ担当者、ケアマネージャー、訪問看護師などが参加して、多職種でカンファレンス（合同カンファレンス）を行っています。合同カンファレンスでは、患者さんが退院後、どこで、どのような生活を望まれているのか、退院後に安心して過ごせるように療養環境を整えるためにどのようなサービスや準備が必要であるのかなどについて、情報を共有しながら退院後の療養支援について検討しています。

これまでは、合同カンファレンスを対面式で行ってききましたが、新型コロナウイルス蔓延による感染拡大防止のためリモートでのカンファレンスを取り入れています。



情報トピックス

「新たな医療通訳システムを導入しました」

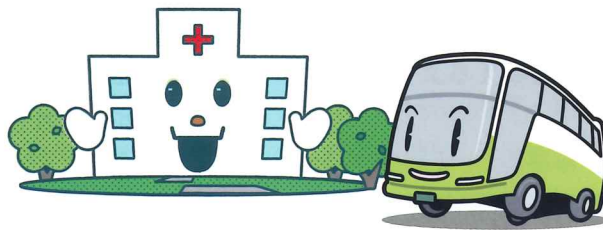
従来の翻訳端末に加えて、令和3年4月より、新たに遠隔通訳システムを導入しました。日本語を話せなくても安心して受診できるように、語学が堪能で医療用語の知識を持ったスタッフがタブレット端末を介して、医師等と患者さんやその家族らとの会話を通訳します。対応言語は、中国語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、韓国語、英語です。利用希望はお近くのスタッフまでお申し出ください。利用に当たって、患者さんのご負担はありません。



医療通訳用タブレット

「バス案内装置を設置しました」

バスの発着をお知らせする電子表示装置（バスロケーションシステム）を正面玄関に設置しました。次に来るバスをお知らせし、到着が遅れそうな場合は、その情報を表示しています。



Kasai City Hospital

みなさまの温かいご厚意に感謝いたします

ご寄附くださった方の中で、お名前等の公表を了承された方をご紹介します。

(令和3年6月末時点)

日付	寄付者氏名	寄付内容	数量
R2.6.22	株式会社 日立製作所ヘルスケア 姫路営業所 様	フェイスシールド	50 個
R2.6.25	但陽信用金庫 様	ガラスシールド マスク (N95)	30 個 1,700 枚
R2.12.7	神明機械株式会社 様	寄付金	500,000 円
R2.12.21	コカ・コーラボトラーズ ジャパン(株) 様	コカ・コーラ他	3,072 本
R3.1.6	兵庫ヤクルト販売(株) 様	ヤクルト 400	1,750 本
R3.2.1	(株)伊藤園 高砂支店 様	お〜い お茶	720 本
R3.2.2	上月 聖子 様	マスク (N95)	42 枚
R3.2.26	シーズンライフ(株) 様	寄付金	60,000 円
R3.3.9	中井 正義 様	寄付金	50,000 円
R3.3.29	浜本保険株式会社 様	寄付金	1,000,000 円
R3.4.8	吉田 昌好 様	医療用ポリエチレングウン	200 枚
R3.4.23	北条ロータリークラブ 様	テレビ会議用 P C ミーティングオウル マイク&スピーカー	各 1 台
R3.5.28	上坂 忠勝 様	寄付金	20,000 円
R3.6.18	高見 忍 様	寄付金	500,000 円

加西病院サポーターの会だより

No.7



会長挨拶

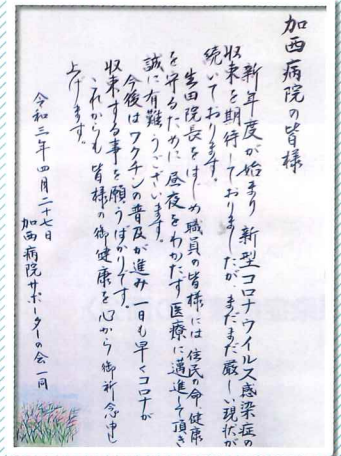
高齢者への新型コロナワクチン接種が全国で進み、感染は下降傾向になると予測されますが、終息にはまだ時間がかかると考えられます。

このような厳しい医療環境の中、加西病院は北播磨圏域の感染症指定医療機関として日々住民の命と健康を守るために医療従事者の皆様はハイリスクにも関わらず、頑張ってくださいありがとうございます。

このような危機的な状況下、最も頼りになるのは市内にある急性期総合病院である加西病院です。

今期「サポーターの会」は、コロナの感染防止の観点から活動計画を縮小いたしました。これからの活動については、感染状況を勘案しながらできることを地道にやっていきたいと考えています。

今後とも本会の活動に対し、ご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



サポーターの会 活動報告

- 令和3年3月17日 定例役員会
- 4月22日 病院中央玄関、野外リハビリ庭園の植栽（マリーゴールド）
- 4月27日 三度目の緊急事態宣言発出中新型コロナウイルス感染者に対応されている病院職員に感謝の差し入れと激励慰問
- 5月12～13日 県立フラワーセンター花家族の会員としてボランティア活動（ポチュラカ等ポット植え）
- 6月1日 病院中央玄関、野外リハビリ庭園の植栽（ポチュラカ）
- 6月18日 定例役員会
高見忍氏によるリハビリテーション器具の寄贈

※当番制による病院中央玄関、野外リハビリ庭園花壇の水やり活動及び草引き作業

「加西病院サポーターの会会員の募集」(個人会員・賛助会員)を随時受付しています。

◆個人会費 年額 500 円 ◆賛助会員 年額 1 万円 多くの皆様のご加入をお願いします。

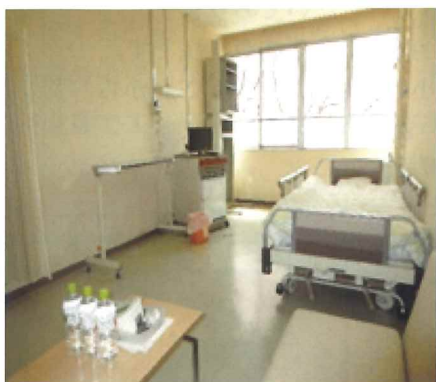
申込先 市立加西病院総務課 TEL 42-2200 (代) 加西市老人クラブ連合会 TEL 42-5670

感染症病棟

病棟課長 長江 菜穂美

当院は北播磨管内で唯一、感染症病棟を有する病院として新型コロナウイルス感染症の発生当初より、患者さんの対応に当たってきました。感染の拡大に伴い、第2種感染症病棟6床に加え、昨年11月に8床を増床、今年2月に3床、5月に2床を増床し、計19床を確保し、感染症患者さんの入院体制を強化してきました。

〈2種感染症病棟〉 昭和に建てられた病棟ですが、きれいに管理しています。



病室：全室個室です。



窓から見える風景：4月には桜が患者さんの気持ちを和ませてくれたと思います。



廊下：共有スペースもきれいに整理整頓しています。

〈感染症病棟での面会〉



面会にタブレットを活用しています。

感染症病棟の患者さんは家族と面会ができません。その間を取り持ってくれるのはタブレットです。今や誰もがスマートフォンを使う時代になりましたが、高齢の患者さんなどではスマートフォンを使えない方もおられます。そこで、第3波からタブレットによる面会システムを整えました。面会が全くできない中でタブレットが患者さんや家族の方の心の危機を救っています。患者さんの笑顔や幸せそうな表情を見たときは、私たちも心が救われ笑顔になりました。

私たちは患者さんの状態の変化をしっかりと観察し、気持ちに寄り添いながら、体調の変化に応じた支援をしています。隔離された環境の中で患者さんは不自由なことや辛いことがたくさんありますが、「私たちにできることは何か」を常に考えて看護を行っています。

これからも、患者さんに寄り添いながら様々なサポートを懸命に行いたいと思います。



地域医療室からのご案内

社会福祉士 河西 翔平

オンラインでのカンファレンスを始めました



この度、オンラインカンファレンスを導入しました。簡単に説明をしますと、テレビ電話でのカンファレンス（話し合い）です。オンライン（インターネット）に接続し、まるで皆がその場に集まっているような状態で在宅支援者等と情報共有を図ることが出来ます。対面でのカンファレンスも行っていますが、面会禁止により情報共有の機会が減っていました。オンラインカンファレンス導入により、コロナ前同様、それ以上の退院支援ができればと思っています。

施設入所前のカンファレンスとして利用しています

グループホーム、介護老人保健施設や特別養護老人ホームなどの入所前の患者さんの情報共有を目的に使用します。

市外県外と関係なく連携を図ることが出来ます。



退院前カンファレンスとして利用しています

自宅に退院する前に、在宅支援者（ケアマネジャーや訪問看護師等）と患者さんの情報共有を図ります。複数の事業所と同時に接続も可能です。



病室で行うことも可能です

患者さんの移動が難しい際には、機器を病室へ持参し病室で患者さんのご様子を確認頂くことも可能です。プライバシーに配慮した対応をしています。



ご利用にあたって

事前に患者さん・ご家族の方にオンラインカンファレンスの説明を行い、同意を頂きます。
 オンライン・対面に関わらずカンファレンスは30分以内と設定しています。
 オンラインの環境設定は地域医療室担当者が行います。
 オンラインの対象は、ケアマネジャーや施設担当者等となります。
 申し訳ありませんが、ご家族の方は当院へお越し頂きます。
 オンラインへの不安がございましたら、対面でのカンファレンスも相談に応じます。



市立加西病院 外来診察担当表

(令和3年8月1日現在)

診療科	診療	日	月	火	水	木	金	備考
内科	初診	8	※山谷	※杉江	※北嶋	※小林征	※河合	●金曜日17診の石井Drの診察は10:00~となります。
	初再診	7	※破磯川	※黒澤	※野口	※七星	※蓬菜	●糖尿病看護外来とフットケア外来は火・木曜日の予約制です。
	予約診	6	稲垣 (消化)	山谷 (内分泌・代謝)	午前 神戸大学	山谷 (糖尿病)	荒瀬	●火曜日26診の七星Drは午後15時以降に睡眠時無呼吸症候群外来を行っています。
		5	杉江	河合 (心臓)	小林征 (心臓)	蓬菜 (消化)	午前 堀平位 午後 堀平位	●水曜日6診は第1・3・5高原Dr 第2・4鈴木Dr 第4谷Drとなります
		26	西村 (呼吸)	午後 七星	桂田直 (呼吸)		羽間 (呼吸)	●水曜日17診は第1・3・5高原Dr 第2鈴木Dr 第4谷Drとなります。
	17	町口 (腎臓)		午後 神戸大学 (ペースメーカー)		石井 (血液)		
地域医療室	人間ドック	30	北嶋	井上広	杉江	井上広	山谷	
脳神経内科	予約診	35	森本		岡山	的場		●完全予約制です。 ●ボツリヌス注射は水曜日・木曜日予約制です。
外科		18	※生田		※生田	※西村		●ストーマ外来は第3木曜日の予約制です。
		20	※高松	※交代で診察	※西村	※吉田	※田中	
整形外科	初診	21	箱木	交代で診察	宮島	飯盛	※飛田	
	再診	22	※宮島		※箱木	※飛田	※飯盛	
		23	※飛田		※飯盛	※箱木	※宮島	
耳鼻咽喉科		1	堅田	堅田	堅田	神戸大学	堅田	●幼児・小中高校生の再診を水曜日の午後に行っています。(学童外来) ●木曜日午後からは手術日となります。 ●嚥下機能評価外来は火曜日・金曜日14:00の予約制です。
精神科 (完全予約制)	予約診 (午前)	1	久保田	松田	松田	久保田	久保田	●完全予約制です。 ●認知症の鑑別診断や認知症自動車運転の診断書に関しては、地域医療室を通して、ご相談ください。 ●現在、初診は受付不可です。
		2	松田		久保田	松田		
	予約診 (午後)	1				久保田	久保田	
		2			久保田	松田		
産婦人科	午前 初再診	13	※東田	※東田		※東田	※東田	●水曜日の午後は手術日です。 ●母乳外来は電話でご相談ください。
	午後 予約診			東田				
小児科	午前 初再診	10				※野津 (夜尿・腎臓病)		●木曜日・金曜日両日とも予防接種は予約制です。 ●金曜日午後の初再診は前もって電話にてご確認ください。
	午後 予約診						※水戸 (慢性疾患)	
眼科	初再診 (9:00~11:00)	25(1)	※濱田	※坂井	※濱田	※濱田	※坂井	●外来の受付時間は11:00までとなります。
		25(2)	※渡部	※渡部	※渡部	※渡部	※濱田	●コンタクト外来は、コンタクトレンズの当日受け渡しは出来ませんのでご了承ください。
	予約診 (11:00~)				コンタクト外来 (第2水曜日のみ)			●緑内障外来は月に1回、予約制です。
泌尿器科		11	※武縄 (10:30まで)	※武縄	※武縄	※金谷	※武縄	●月曜日の受付時間は10:30までとなります。 ●木曜日の外来受付時間が手術により変更になる場合があります。
皮膚科	初再診	2	※田中		※田中	※田中 (10:30まで)		●木曜日の受付時間は10:30までとなります。
			※神戸大学 (午前)	※神戸大学 (午前)			※神戸大学 (午前)	
腫瘍外来	初再診	17			※佐々木 (放射線治療連携)			●リンパ浮腫外来は水曜日の午前予約制です。 ●佐々木Drの診察は9:00~10:30となります。また、第3水曜日は休診です。
麻酔科	専門外来	16	林 (術前診/ペインクリニック) 魚住・森川 (術前診)		魚住・森川 (術前診)	林 (ペインクリニック)		●ペインクリニックの初診は木曜日のみです。紹介状をご持参ください。

【受付時間】 ●初診受付 (午前8時30分~11時30分)
 ●再診受付 (午前8時00分~11時30分)
 ●予約診受付 (午前8時00分~17時00分)

受付窓口②へお越しください

- ・初めて加西病院を受診される方
- ・今回受診される科が初めての方
- ・または、1年以上診察を受けていない方
- ・診察券をお持ちでない方

- 診療科により、受付時間や休診日が異なる場合があります。
- ※は、予約の患者さまも含まれます。
- 診察券により再来受診機で受付を行ってください。(再来院・予約診の方も)